

第31回地球温暖化対策推進本部 議事要旨

日 時：平成27年11月26日（木）9時45分～9時55分

場 所：官邸2階小ホール

出席者：別紙参照

- はじめに、菅官房長官（司会）から、COP21の首脳会合には安倍内閣総理大臣が、閣僚級会合には丸川環境大臣が出席予定であること、本日はCOP21に向けた我が国の対応について議論するとの説明があった。

- 丸川環境大臣から、以下の発言があった。
 - ・ COP21に出席し、全ての国が参加する、公平で実効的な枠組み合意に向けた最大限の貢献を果たす。また、優れた低炭素技術の普及を促進する二国間クレジット制度等による我が国の貢献を世界に発信し、国際協力を強化する。
 - ・ COP21後は、「緩和」と「適応」の両面にわたり計画的に国内対策を実行する。更には、2℃目標の達成に向けた長期戦略の検討も必要になると考えている。なお、2014年度の温室効果ガス総排出量は前年度比3%減となり、対策の効果が現れつつある。

- 岸田外務大臣から、以下の発言があった。
 - ・ COP21に向けて、途上国支援、イノベーションからなる我が国の貢献策「美しい星への行動2.0」、略して「ACE（エース）2.0」を取りまとめた。このうち、途上国支援については、我が国の支援額を2020年に、官民合わせて年間約1兆3千億円、現在の1.3倍の支援を行うもの。
 - ・ 全ての国が参加する新たな枠組みへの途上国の同意を取り付けるためには、2009年のCOP15での先進国の約束である「2020年までに官民合わせて先進国の支援合計年間1,000億ドル」の実現が重要。今回の我が国による増額分が加わることで、約束が実現する道筋がつく。国際的にも高く評価されるものと思う。日本として、この歴史的交渉の妥結を後押しすべく、COP21首脳会合で総理に表明いただきたい。

- 林経済産業大臣から、以下の発言があった。
 - ・ 温室効果ガスの抜本的な排出削減のためには、革新的なエネルギー・環境技術のイノベーションが不可欠であり、我が国が国際的にもイニシアティブを発揮することが重要。
 - ・ 電力システム改革の実行とエネルギーミックスの実現を通じて、強い経済とCO2排出抑制を同時に達成していく。このため、関連制度を一体的に整備するべく「エネルギー革新戦略」としてとりまとめ、成長戦略や地球温暖化対策計画の策定に貢献したい。

- 菅官房長官から、「美しい星への行動2.0」について、本部として了承すること、COP21の結果と今後の方針については、本部で改めて議論することの発言があった。

- 最後に、安倍内閣総理大臣（本部長）から、以下の発言があった。
 - ・ 日曜に出発し、COP21 に出席する。「京都議定書」に代わる、温室効果ガス削減のための「新たな国際枠組み」の合意を、是非まとめたい。
 - ・ 本日、「美しい星への行動2.0」、略して「ACE（エース）2.0」を決めた。2013年の「ACE（エース）」で示した日本の気候変動対策への貢献を一段と強化したもの。
 - ・ 第1に、途上国支援。我が国は、「新たな国際枠組み」の合意に、全ての国が参加することを重視している。途上国の積極的な参加を後押しするため、2020年の支援額を1.3兆円に増額する。これにより、先進国による年間1,000億ドルの約束達成の道筋がつくと考える。
 - ・ 第2に、イノベーション。気候変動対策と経済成長を両立させる鍵は、革新的技術の開発である。例えば、CO2フリー社会に向けた水素の製造・貯蔵・輸送技術、電気自動車の走行距離を現在の5倍にする次世代蓄電池。来春までに、「エネルギー・環境イノベーション戦略」をまとめる。集中すべき有望分野を特定し、研究開発を強化していく。
 - ・ 全ての国が参加する、公平で実効的な枠組みの合意に向け、政府を挙げて、全力で取り組んでいく。

以上

出席者一覧

本部長	安倍 晋三	内閣総理大臣
副本部長	菅 義偉	内閣官房長官、沖縄基地負担軽減担当
	丸川 珠代	環境大臣、内閣府特命担当大臣（原子力防災）
	林 幹雄	経済産業大臣、産業競争力担当、原子力経済被害担当、内閣府特命担当大臣（原子力損害賠償・廃炉等支援機構）
本部長	麻生 太郎	副総理、財務大臣、内閣府特命担当大臣（金融）、デフレ脱却担当
	岸田 文雄	外務大臣
	馳 浩	文部科学大臣、教育再生担当
	塩崎 恭久	厚生労働大臣
	森山 裕	農林水産大臣
	石井 啓一	国土交通大臣、水循環政策担当
	高木 毅	復興大臣、福島原発事故再生総括担当
	河野 太郎	国家公安委員会委員長、行政改革担当、国家公務員制度担当、内閣府特命担当大臣（消費者及び食品安全 規制改革 防災）
	甘利 明	経済再生担当、社会保障・税一体改革担当、内閣府特命担当大臣（経済財政政策）
	加藤 勝信	一億総活躍担当、女性活躍担当、再チャレンジ担当、拉致問題担当、国土強靱化担当、内閣府特命担当大臣（少子化対策 男女共同参画）
	遠藤 利明	国務大臣（東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会担当）
	松本 文明	内閣府副大臣（島尻 安伊子 内閣府特命担当大臣（沖縄及び北方対策 科学技術政策 宇宙政策）、海洋政策・領土問題担当、情報通信技術（IT）政策担当、クールジャパン戦略担当の代理）
	藤丸 敏	防衛大臣政務官（中谷 元 防衛大臣の代理）